

できることで、ゆるく、楽しく、つながる『おおなかよし』

取組のあらまし

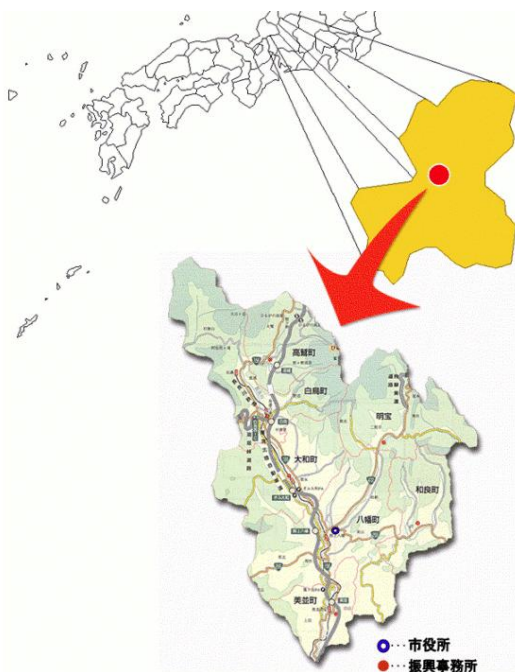
取組団体 岐阜県郡上市

取組内容 郡上市立大中小学校では、「できることで、ゆるく、楽しく、つながる『おおなかよし』」を合言葉に、地域と学校が一体となって子どもを育てる特色ある取組を展開してきた。この活動は令和6年度に文部科学大臣表彰を受賞し、全国的にも先進的な実践として高く評価された。

1 岐阜県郡上市の概要

人口	37,728人	令和7年1月1日現在（住民基本台帳人口）
職員数	334人	令和6年4月1日現在（一般行政部門）
総面積	1,030.75 km ²	令和7年10月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 1 郡上市位置図



出所：郡上市ホームページ

2 取組の背景・目的

(1) 取組の社会的背景と政策的な位置づけ

岐阜県郡上市では、少子化・高齢化や地域コミュニティの希薄化といった課題への対応として、地域と学校が連携して子どもを育てる「コミュニティ・スクール」制度を導入した。

令和3年4月、「郡上市学校運営協議会規則」が施行され、市内小中学校に学校運営協議会が設置可能となった。これは地域住民や保護者が学校運営に参画し、地域と学校が協働する体制を整えるものである。

令和4年度には全小中学校に学校運営協議会の設置が完了し、学校と地域がパートナーとして課題を共有し、協働する基盤が築かれた。この制度は、文部科学省が掲げる「社会に開かれた教育課程」の推進の一環でもあり、教職員の働き方改革の観点からも意義がある。

(2) 取組の経緯

制度施行に先立ち、郡上市教育委員会は令和2年度に規則整備を行い、令和3年度からの3年間、郡上市立大中小学校を郡上市研究推進校に委嘱した。研究内容は「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」で、他校の参考となる事例として取組成果の発信を期待した。

大中小学校の実践は、郡上教育フォーラムや美濃地区社会教育研修会において発表された。その成果が評価され、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞し、全国的な先進事例として紹介された。

(3) 取組の全体像

コミュニティ・スクールの取組は、「学校運営協議会の設置による制度整備」と「地域学校協働活動の推進」の二本柱で構成されている。協議会では地域住民が学校運営に関与し、パートナーシップ体制を制度的に支える。一方で、地域住民や団体が教育活動に関与し、地域性を活かした学びを提供している。

特に、先行して取り組んだ大中小学校では、地域学校協働本部「おおなかよし」を軸に、「できる人が、できる時に、できることを」という柔軟な関わり方で連携を図っており、無理なく楽しく続けられる体制が評価されている。制度と実践の両輪が融合している点が特徴である。

3 取組内容

(1) 郡上市立大中小学校における取組

郡上市立大中小学校では、「できることで、ゆるく、楽しく、つながる『おおなかよし』」を合言葉に、地域と学校が一体となって子どもを育てる特色ある取組を展開してきた。この活動は令和6年度に文部科学大臣表彰を受賞し、全国的にも先進的な実践として高く評価された。以下に具体的な取組内容を記載する。



ア 地域資源を活用した教育目標の具体化

取組の柱の一つは、地域資源を活用した教育目標の具体化である。学校の教育目標「ふるさとを愛し、未来を拓く子」の実現に向け、「子どもたちを将来の地域の担い手」として育てるという理念のもと、学校と地域が協働で活動を計画・実施している。活動は平日の授業支援に加え、放課後や週末の行事も含まれ、子どもと地域住民が日常的に接する機会が多数設けられている。これにより、子どもは地域の思いや文化に触れ、自らの役割を意識して行動する力が身につけてきている。

イ 「ゆるいつながり」による活動の継続と拡大

もう一つの柱は、「ゆるいつながり」による活動の継続と拡大である。「できる時に、できる人が、できることをする」という柔軟なスタンスを尊重し、無理なく関われる環境を整備してきた。その結果、地域ボランティアが気軽に参加しやすくなり、徐々に新たな人材やアイデアが加わる好循環が生まれている。協働の中心を担う地域コーディネーターが学校運営協議会にも参画しており、方針と現場活動の一体化が図られている点も成果の一因である。

図表 2 郡上市大中小学校における特徴的な取組

<p>〈ゆるいつながり〉</p>  <p>「できることで」「できる人で」「できる時に」というスタンスの活動を継続することで、無理のない取組を実施している。</p> <p>「楽しかった」「学校に行ってもいいんだ」から、「次も」「仲間を誘って」と、内容や人が広がるよう活動を継続している。</p>	<p>〈ゆるいつながりによる季節感ある取組〉</p>  <p>生活科や総合的な学習の時間における継続的な取組の中で、「子どもたちに季節を感じてほしい」「こんな体験をさせたい」という地域の方の願いを受け、その実現に向けて協議し、実現可能な形で実施している。 (焼き芋作り、田植え、昔の遊び体験、神楽の伝承、野菜作り、郷土料理作り、コンポストの活用など)</p> <p>〈地域貢献活動としての公民館活動への参画〉</p> <p>学校運営協議会メンバーによる公民館行事への協力の呼びかけに応え、夏祭りなどの催しを提案し、その準備を行い、行事当日も運営を体験することで、地域に貢献していることが実感できる活動を実施した。</p>
<p>学校運営協議会の会議だけでなく、各活動に応じたグループで自主的に声をかけ合って打ち合わせを行い、思いや願いを交流し、活動の具体について相談している。活動に応じたメンバーで協議することで、ねらいや計画を共有している。</p>   	

出所：文部科学省：令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰被表彰取組 事例集

ウ 地域貢献活動としての公民館活動への参画

地域との協働活動を生活科や総合的な学習の時間に位置付け、課外活動ではなく教育課程の一環として「公民館活動への参画」を実施していることも特色である。これにより児童の学習意欲が高まると同時に、地域住民も自らの経験が教育に貢献しているという実感を得やすく、双方の連携意識を深めている。こうした教育と地域貢献の融合が、今回の文部科学大臣表彰において高く評価されたポイントである。

(2) 取組の推進体制

取組の推進に当たり、郡上市立大中小学校では、令和3年の「学校運営協議会規則」施行と同時に、地域と学校が連携して子どもを育む体制として学校運営協議会を設置した。委員は自治会長や公民館役員、保育園長、地域コーディネーター、PTA会長など多様な人材10名で構成され、年8回程度の会議を通じて学校経営方針の承認や地域連携の方策を協議している。

地域コーディネーターは、推進員の役割も担いながら柔軟な体制で活動を支えている。また、「無理なく楽しく参加できる仕組み」の維持にも力を入れており、グループ活動の分担や新規参加者への配慮、広報紙やSNSを通じた情報発信により、地域内外への理解促進と協力者の拡大を図っている。こうした多層的な連携により、「おおなかよし」の活動は持続的に展開されている。

この体制により、学校と地域の情報共有や信頼関係が強化され、地域住民は「学校の応援団」として積極的に関われるようになった。協議会は教育課程や行事計画への地域の意見反映や、地域行事との連携調整などの役割も担う。これにより、子どもの学びが豊かになるだけでなく、保護者の安心感や地域理解の向上、教員異動に左右されない持続可能な支援体制の構築といった効果が生まれている。

図表 3 地域コーディネーターの位置づけ



出所：郡上市教育委員会資料

4 成果・課題

(1) 成果

郡上市立大中小学校の「おおなかよし」の取組は、子どもと地域の双方に顕著な成果をもたらしている。加えて、取組が文部科学大臣表彰を受けるなど外部からも高く評価されており、地域のブランドイメージを向上させるとともに、市内他校にも好影響を与え、郡上市全体の教育力向上と地域活性化につながっている。

ア 児童の意識変化

取組の結果、児童の意識変化が数値に表れており、「地域や社会をよくするために何かしたい」と考える児童は令和4年の60.0%から、令和6年には93.8%に増加した。また「地域の良さを感じている」「地域の人から学ぶのが楽しい」と答えた児童もそれぞれ97%、99%に達し、地域への愛着と学びの充実が明らかとなっている。

図表 4 図表タイトル

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合(%)
(全国学力・学習状況調査 質問紙調査 番号25)

R4	R5	R6
60.0	89.5	93.8

出所：文部科学省：令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰被表彰取組 事例集

イ 学校と地域の関係性の深化

学校と地域の関係性も深化しており、地域住民からの学習活動提案が増え、地域が教育活動に主体的に関わるようになった。これにより世代を超えた人間関係が構築され、地域の一体感が高まっている。

(2) 課題

課題としては、持続的な取組に向けた人材確保があげられる。現在「おおなかよし」を支えている地域コーディネーターやボランティアは熱意のある方々が多いが、今後も継続していくためには新たな参加者の掘り起こしや若手世代の参画が不可欠である。

関連・参考資料

郡上市教育委員会：「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」

<https://www.city.gujo.gifu.jp/admin/detail/10884.html>

郡上市教育委員会：令和3年度 郡上市教育委員会 点検評価報告書

https://www.city.gujo.gifu.jp/admin/edu_cat787/

文部科学省：令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰被表彰取組 事例集

https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/R6hyousyou_jireisyu.pdf